

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年5月21日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年5月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【サブドレン集水設備移送配管工事における耐圧試験時の漏えいについて】 サブドレン集水設備移送配管の工事において、耐圧試験準備のため、ろ過水による水張りを行っていたところ、サブドレンNo. 2中継タンクの堰内において接続作業前の配管よりろ過水が漏えいした。 漏えいしたろ過水は約2.9m ³ でサブドレンNo. 2中継タンクの堰内に留まっていた。 原因調査の結果、止水していたバルブの締め付け不足により漏えいしたことが分かった。	GⅢ
2	【発電所構内にて片づけ作業を行っていた作業員の体調不良について】 H6北タンクエリアにおける配管撤去作業の後、協力企業棟周辺で片づけ作業を行っていた作業員が体調不良により所内救急治療室へ搬送された。 熱中症との診断を受け、点滴などの治療の後に帰宅。	GⅢ
3	【6.9kV高圧配電盤6Dしゃ断器(2B)の不具合について】 6.9kV高圧配電盤6Dの点検完了後の復旧操作において、しゃ断器(2B)が動作しない不具合が確認された。このため、使用していない同仕様のしゃ断器(6B)と入れ替えて復旧した。不具合のあったしゃ断器については、原因調査の予定。	GⅢ